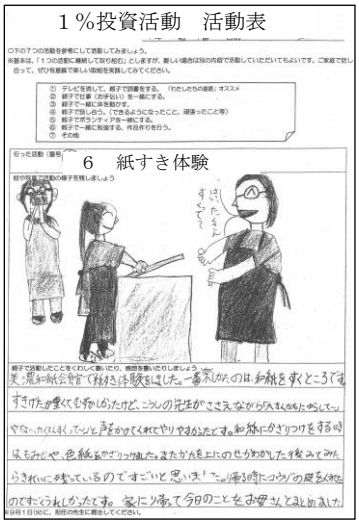
在宅取組型（小学校）

学 校 名 等	各務原市立尾崎小学校
実 施 日 時	長期休業日（夏・冬）
会　　場	自宅・地域
参 加 人 数	全校児童（４１５名）とその保護者
学習課題（分野）	１％投資活動
運営者の願い	＜活動の願い＞　（那加第二小学校と共に取り組んでいる） ○「親子のつながりを深める」ことが願いです。 ○「学校と家庭が同じ方向で取り組む」ことが、子どもたちのよりよい成長につながります。 ○「知・徳・体」のバランスのとれた子どもが育つことを願っています。

「１％投資活動」とは！
１日は１４４０分、その１％は１５分。自分の時間の１％、１５分を自分や家族のため有効に活用し、社会のために貢献する活動です。それが、将来の自分への投資であり、蓄えとなると考えています。

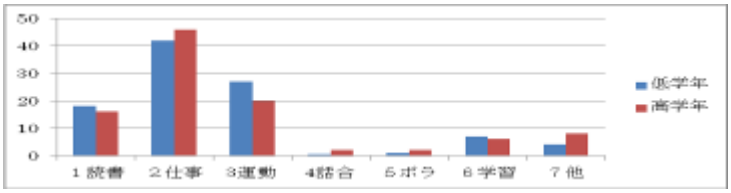
学　習　の　内　容

＜活動内容＞家庭で決めた活動を15分間、親子で実践する。
①テレビを消して、親子で読書をする。（「わたしたちの道徳」オススメ）
②親子で仕事（お手伝い）を一緒にする。
③親子で一緒に体を動かす。
④親子で話し合う。（できるようになったこと、頑張ったこと等）
⑤親子でボランティアを一緒にする。
⑥親子で一緒に勉強する、作品づくりを行う。
⑦その他



＜活動の進め方＞
1、案内文書の説明を読み、**取り組む内容や時間を親子で話し合って決める。**
2、別紙に取り組んだ内容を記録する。期間の終わりに**親子の感想を話し合い、記録する。**（右上活動表）
3、活動表を担任を通して、PTA学年学級委員会に提出する。
4、夏休み・冬休みに実施し、**2月の学級懇談会で実践や感想を交流する。**
（提出された記録を右中表のように、学級委員がまとめて活用。）
5、懇談会や学校評価アンケートで成果等を確認し、次の活動に生かす。

＜冬の1％投資活動の集計結果＞　（低・高学年別）



集計結果から、学年による差はあまりなく、冬は「②親子で仕事（お手伝い）を一緒にする」が多く、夏は「③親子で一緒に体を動かす」と「②親子で仕事」が多い。

＜子どもの記述より＞
◇「①テレビを消して、親子で読書する」（5年女子）
わたしたちの道徳の話を読んで家族で意見を言い合いました。いろいろな意見が出ておもしろかったです。なかなか家族みんなで話し合うことができないので、すごくいい体験になりました。
◇「④親子で話し合う」（5年男子）
ぼくは、家族で戦争について話し合いました。新聞にのっている戦争の経験者の記事も読みました。ぼくは、戦争をおそろしいと思いました。これから、戦争がおこらない平和な国でいてほしい。

＜保護者の感想より＞
◇1％投資活動の紙を見て、何かやらなくっちゃと思ってしまうが、**わが家でやっていることでいいのだと気付いた。「ちゃんと子どもとの時間をとらなきゃな」と気付かされた。**
◇毎日はできなかったが、一緒に体を使って遊んだので、子どもたちの**たくさんの笑顔**を見ることができ、親子で充実した時間を過ごせた。　**一日数分でもこの取組が自然にできる家族でありたい。**

＜在宅取組型＞
○親子でできることを決め、各家庭で取り組む。
○全ての保護者に、家庭教育の重要性を働きかけることができる。
○家庭の実態や子どもの発達段階に応じた活動を設定し実践できる。

「１％投資活動」
①「１％投資活動」に込められた願いに賛同し、中学校区の小学校が共に活動している。
②「活動の願い」を懇談会で説明している。
③「活動内容」を７項目で示し、親子で話し合い、実践できる。
④夏休みと冬休みに実践している。
⑤「活動のまとめ」を各学級委員がまとめて、２月の懇談会で感想交流をする。
⑥懇談会や学校評価で成果を確認している。